
「腸腰筋量が大腸穿孔の予後に及ぼす影響」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

対象となる患者さんの定義： 2015 年 1 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの期間に
埼玉医科大学病院消化器一般外科において大腸穿孔に対して緊急手術を施行した症例
予定する患者さんの数：270 例

2. 研究の目的

大腸穿孔の術後経過における骨格筋量の影響を検討する

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 12 月 31 日まで

4. 利用または提供の開始予定日

2025 年 8 月 18 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

対象症例についてカルテより年齢、性別、穿孔原因、身長、体重、術前 PS、合併疾患、白血球数、SOFA スコア、ICU 滞在期間、人工呼吸器管理機関、術後合併症、転帰について抽出する。また術前 CT を用いて第 3 腰椎上縁の腸腰筋断面積を測定する。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 IRB において、研究責任者である浅野 博が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

2015 年 1 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの期間に埼玉医科大学病院消化器一般外科において大腸穿孔に対して緊急手術を施行した症例

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 浅野 博(研究責任者)
埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 高山 哲嘉
埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 伏島 雄輔
埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 高木 誠
埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 鈴木 将臣
埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 金 晟 徹

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 篠塚 望病院長

5. 試料・情報の提供方法等について

研究のため集積された情報は、解析された後、鍵のついた保管庫で研究終了後5年間保管されます。その後シュレッダーにかけられて完全に廃棄されます。

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 高山 哲嘉
電話番号 049-276-1330

○研究課題名： *腸腰筋量が^{大腸穿孔}の予後に及ぼす影響*

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化器・一般外科 浅野 博